

# エージシュート達成!!

## その影に...

ゴルフのラウンド中に急に我慢できないほどの尿意に襲われる…。これは過活動膀胱という病気の代表的な症状「尿意切迫感」です。普通は軽い尿意を感じた場合、トイレを我慢することができますが、過活動膀胱の患者さんでは、急に起こる尿意を我慢することができません。このような症状でお悩みのゴルファーの方、年のせいだからと諦めないで、まずは医師に相談してください。

### 病気があるからおしっこが近いのです

先日、患者さんより大変うれしいお知らせをいただきました。ゴルフのラウンドでエージシュートとホールインワンを同時に達成されたという報告です。もともとゴルフが大変お上手な方でしたが、治療前は前立腺肥大症のために尿の出が悪く、夜間に何度もトイレに起きるようになっていました。同時に尿意切迫感もあり、前立腺肥大症と過活動膀胱が合併した状態でした。

私は、ゴルフは練習に裏付けられた技術と精神力のスポーツと考えています。今回のようなエピソードは薬の服用で症状が改善し、それにより集中力が高まり、ホールインワンという運までも引き寄せたといつて過言ではないと思います。いくら卓越した技術があつてもラウンド中におしっこを考えると精神的に安定していかない状態では、良いショットを打つことは難しいと思います。

トイレの悩みは、相談しづらく、年だから調子が悪くても仕方がないと考えがちです。

が、年だから調子が悪いのではなく、病気があるから調子が悪いのです。現在、おしっこの悩みを改善する良い薬はたくさんあります。ご本人が勇気をだしてご相談いただければ、このような夢のようなことも実現する可能性があります。すよ。

### おしっこが気になりだしたら 早めの受診を

この方のように、「一晩に何度もトイレに起きてしまうと寝た気がせず、日中も睡眠不足でダルさを感じたり、集中力に欠けてしまう」といったことも…。就寝後1回以上トイレに起きることを「夜間頻尿」といい、2回以上で治療対象となります。夜間頻尿は様々な原因から生じますが、泌尿器科疾患で代表的なものが「過活動膀胱」です。また男性の場合は前立腺が大きくなることによりおしっこが出にくくなる「前立腺肥大症」が原因となっている場合もあります。いずれも問診と簡単な検査（必要に応じて詳しく調べる検査を行う場合もあります）で診断していきます。

ますのでぜひお医者さんに相談してみましよう。

この記事を読んで、なんとなく思い当たる方は以下のチェック項目を確認してみましよう。

- トイレに行く回数が多い
- 急にトイレに行きたくなつて、我慢が難しいことがある

- トイレまで我慢できずに漏らしてしまうことがある

これらがつ以上当てはまれば、過活動膀胱の可能性がります。過活動膀胱は治療により改善する可能性がります。一人で悩まずにお医者さんに相談してみましよう。



### ドクター紹介



### 加藤 忍 先生

かとう腎・泌尿器科クリニック 院長（神奈川県平塚市）  
日本泌尿器科学会専門領域委員会オフィスウロロジー副会長  
[ホームページ] <http://www.kato-urc.com/>

1991年 藤田保健衛生大学医学部卒業。1998年 藤田保健衛生大学大学院博士課程修了。  
1993年より平塚市民病院、成田記念病院、伊豆赤十字病院、国民健康保険団体連合会福生病院（公立福生病院）を経て、2006年 平塚市民病院泌尿器科部長。2013年7月 平塚市にかとう腎・泌尿器科クリニックを開設。  
入院手術が一般的な前立腺肥大症の日帰りレーザー手術を導入し、他県から多くの患者さんが受診されています。